

第27回 全国街路事業コンクール

全国街路事業促進協議会会長賞

福岡県及び福岡県久留米市都市建設部

ひがしあいかわのぶすません

都市計画道路東合川野伏間線街路事業

都市名	福岡県久留米市	事業主体	福岡県及び久留米市
-----	---------	------	-----------

事業概要

東合川野伏間線は、市中心部を通過する国道3号、209号、210号等を結ぶ全延長約6.5kmの都市計画道路であり、都市圏道路ネットワークの一部を形成する久留米市初の環状道路である。

久留米市の広域幹線道路は国道等を含め7路線で形成されており、これらの道路の各方面への移動にあたっては、市中心部を通過するため、市街地において慢性的な渋滞が発生していた。このため、市中心部に集中する通過交通の分散化を目的とした交通ネットワークの構築が求められていた。

本事業では、未開通区間である約2.8kmの整備を行うことにより、全線の整備が完了し、市中心部の慢性的な渋滞を緩和するとともに、市南西部から久留米ICへのアクセスが飛躍的に向上するなどの事業効果が発揮された。

○事業延長：2,820m（福岡県区間1,560m、久留米市区間1,260m） ○幅員：25m
○事業費：約219億円（福岡県：約152億円、久留米市：約67億円） ○事業期間：平成10年度～平成25年度

表彰理由

本事業により国道3号と国道210号を結ぶ環状道路ネットワークが形成され、通過交通が集中する市中心部における交通渋滞の緩和、久留米ICへのアクセス向上や緊急輸送路の確保等が図られたことが高く評価された。

さらに風致地区の区間を施工するにあたり、アーチカルバート上部を緑化し、散策路や防災機能を有する多目的広場の整備を行うなど、自然環境と景観に配慮した取り組みが高く評価された。

